

4年生 里芋の販売に挑戦

～ぼくたちが育てた里芋を食べてください～

銘水館を見学に行った際に直売所の様子を学習した4年生は、自分達も大切に育てた里芋を販売したいと考え、その方法や留意点など、直接携わっている地域の方に聞くことにしました。「たくさんの人に買ってもらうには。」「袋に入れる時の工夫は。」「販売価格はどうすればいいの。」「PRの仕方は。」グループごとに作業を進める上で、たくさんのアドバイスをいただきました。

待ちに待った里芋の直売会は11月21日(火)に銘水館で開催されました。開始時刻10時を前に長い行列ができていました。予想以上の盛況ぶりでお一人様2袋までという購入制限をするほどでした。用意した80袋弱の里芋は10分程度で完売。大成功でした。「たくさんの人に買ってもらってうれしかった。」「ポスター作りやチラシ作り、袋詰め、販売の極意を直売の方から教えてもらいながら、自分たちで協力できたから成功した。」と嬉しそうに話してくれました。自分たちの学習が町のために少しでも貢献できたと感じる取り組みでした。



銘水館の方に販売のコツをお聞きしました



商品の里芋の土を丁寧におとします。

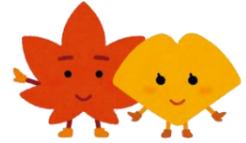


販売している様子です。笑顔で接客です。



売り上げの使い道はこれからみんなで考えます！

第2回おはなし会



紙芝居や大型絵本、昔語りにじっくり親しむおはなし会(45分)が11月22日(水)に行われました。子ども達はとても楽しみにしています。お話の内容に加えて、地域の方と関わるのも楽しみの一つです。



夢中で聞いています。



とっても素敵なオリジナルの紙芝居です。

5年生 脱穀作業

11月17日(金)昔の道具を使って5年生が米作りを行いました。稲からもみを落とす足踏み脱穀機と風の力でゴミや殻を飛ばす唐箕(とうみ)を飛ばす唐箕です。一粒でも大事にするためいろいろな道具を開発した人間の知恵を感じます。

何という道具かな。



足踏み脱穀機に挑戦。



秋の味覚 ありがとうございます

原木なめこの味噌汁です



生産者の皆様といっしょに。



町内の生産者の方からご提供いただいた原木なめこをふんだんにつかった味噌汁を、11月8日(水)の給食で生産者の方と一緒に味わいました。猛暑で心配された収穫量も、ここ数日で一気に増え始め、生育もますますだそうです。菌床よりもぬめりがあって、やわらかくとてもおいしいなめこでした。子ども達も「おいしい。」と笑顔で食べていました。

また、JA西村山様からはおいしいりんごをいただきました。11月21日(火)にJA本所で贈呈式があり、食育委員長の伊藤愛莉さんが代表として参加してきました。



いただいたりんごについて紹介しました。

